

電事連会長 定例会見要旨

(2018年7月20日)

電事連会長の勝野です。よろしくお願いたします。

<平成30年7月豪雨の発生について>

はじめに、今月上旬、中国・四国地方をはじめとした西日本を中心に「平成30年7月豪雨」が発生いたしました。

この豪雨の影響で、お亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を表しますとともに、御遺族と被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

この度の豪雨に伴いまして、西日本において電力設備も大きな被害を受け、各地で停電が発生いたしました。

特に、浸水や土砂崩れなどによる被害が甚大であった中国地方では、広島県内を中心に延べ19万3千戸のお客さまが停電し、中国電力では、発災直後から、全力で停電の復旧作業にあたるとともに、西日本の電力会社4社が、中国電力からの要請に応じて、車両や要員などを順次応援派遣し、停電の早期復旧に努めてまいりました。

これらの取り組みなどにより、今月13日までに、中国・四国地方においても、電気の使用見込みの立たないお客さまを除き、送電を全て復旧しております。

電力の小売全面自由化から2年3か月が経過し、各社は大変厳しい競争環境の中で切磋琢磨しているところではありますが、私どもにとって「電力の安定供給」が最大の使命であることに、些かも変わりはありません。

今月中旬以降の猛暑の影響により、電力需要が高まっている状況にありますが、一昨日には、電力5社から関西電力エリアへ応援融通を実施するなど、安定供給に関わる部分については、引き続き、各社間で協力してしっかりと取り組んでまいり所存であります。

それでは、本日は、「第 5 次エネルギー基本計画の閣議決定」について申し上げます。

＜第 5 次エネルギー基本計画の閣議決定について＞

今月 3 日に、「第 5 次エネルギー基本計画」が閣議決定されました。

まず、日本の将来のエネルギーのあるべき姿について、これまで精力的に検討を重ねてこられた審議会の委員の方々をはじめ、関係の皆さま方に深く敬意を表したいと思います。

今回の計画では、従来の 2030 年時点のエネルギーミックスのあり方や電源構成などの基本的な方針を堅持しつつ、情勢の変化を踏まえ施策の深掘りや強化を行う方向性が示されるとともに、エネルギー情勢懇談会による「提言」を踏まえ、2050 年を見据えたエネルギー転換・脱炭素化に向け、あらゆる選択肢の可能性を追求する「野心的な複線シナリオ」も採用されました。

私どもといたしましては、今回の計画で示された 2030 年のエネルギーミックスの実現に向けて、主力電源化を目指す再生可能エネルギーの導入拡大や原子力発電所の再稼働など、各分野で足元の取り組みを加速してまいります。

また、2050 年に向けては、再生可能エネルギーの大量導入を見据えた次世代ネットワークシステムの構築や、再生可能エネルギー等の調整力として必要な火力発電の高効率化などについても取り組んでまいります。

エネルギー資源に乏しく、隣国と電気のやりとりができない我が国においては、「S+3E」の観点から、特定の電源や燃料源に過度に依存しない、バランスのとれたエネルギーミックスを実現することが極めて重要であることに変わりはありません。

とりわけ、原子力発電については、引き続き、将来にわたる重要なベースロード電源として、2030 年度の電源構成の中でも 22%～20%を担うとともに、原子燃料サイクルの推進やプルトニウム保有量の削減に取り組むことが計画の中

でも確認されました。

私ども原子力事業者といたしましては、引き続き、新規制基準への確に対応することはもとより、今月1日に設立された「原子力エネルギー協議会(ATENA)」などとも連携しながら、規制の枠を超えたより高い次元の安全性を確保してまいります。

昨日、九州電力が玄海原子力発電所4号機の営業運転を再開いたしました。こうした、一日も早い原子力発電所の再稼働やプラントの安定的な運転を通じて、2030年のエネルギーミックスの実現を目指してまいります。

また、ウラン資源の有効活用、廃棄物の減容などの観点からも、プルサーマルを含めた原子燃料サイクルは極めて重要だと考えており、引き続き、業界一丸となってプルサーマル導入に最大限取り組むことで、原子燃料サイクルを確立するとともに、プルトニウムの削減に尽力してまいります。

さらに、今回の計画では、2050年の長期的なエネルギーの将来像の中でも、原子力発電は「実用段階にある脱炭素化の選択肢」として位置づけられています。

私どもといたしましては、福島第一原子力発電所の事故を経験した国の原子力事業者として、原子力の将来を切り拓くという決意をもって、原子力に関する人材育成や技術開発を強化しつつ、安全性や経済性の追求に絶えず挑戦することで、将来の新增設やリプレースにも備えてまいります。

本日、私からは以上です。

以 上